

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	民生委員児童委員協議会事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	01	01	04	02
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	民生委員児童委員	意図	民生委員児童委員が活動しやすいように会議、研修、連絡調整、資料・情報提供等し支援する。
事業内容	民生委員児童委員の会議（理事会・地区会議）の開催、合同研修会開催、職務に関する連絡調整、福祉事務所その他県警行政機関との連絡、必要資料・情報収集、職務に必要な知識・技術の修得支援、職務遂行に必要な事項の処理、職務に関して必要と認める意見の関係各庁への具申			
事業開始から現在までの状況変化	民生委員法に定められた組織。民生委員児童委員の会議（理事会・地区会議）の開催、合同研修会開催、職務に関する連絡調整、福祉事務所その他県警行政機関との連絡、必要資料・情報収集、職務に必要な知識・技術の修得支援、職務遂行に必要な事項の処理、職務に関して必要と認める意見の関係各庁への具申を行う。事業は、流山市社会福祉協議会に委託している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 民生委員児童委員数	147	155	155	人	↑↑↑	
	② 民生委員児童委員会議数	95	97	94	回	→→	理事会、総会、合同研修会、地区定例会、主任児童委員連絡会
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 近年、民生委員児童委員の基本活動以外である、地区社会福祉協議会等、他業務が増加し、会議に出席できない者が増えている。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,820,000	8,870,000	8,170,000			
事業費(b)(円)		8,820,000	8,870,000	8,170,000			
うち一般財源		8,336,000	8,381,000	7,681,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	理事会において、出席状況が芳しくない者に対し、出席を促すようしてもらう	③取り組みの課題	市職員担当者の出席について、月1回の理事会には出席できたが、地区会議は8か所あるため、出席が難しい
②今年度(H24)に実施した取り組み	市職員担当が理事会及び地区会議に出席した	④今後の改善計画	・理事会は必ず出席する ・地区会議は、現状では全ての出席は難しい